ホッとひと息する1日を 喫茶『あいあい』

『あいあい』とは？

愛全園では『あいあい』という喫茶を月2回開店しています。ボランティアさんが店員となり、お客様は主に地域の一般の方や愛全園に入居されている利用者の方、面会に来ていらっしゃる方などさまざまです。『あいあい』ではコーヒーやお茶を飲みながらお話をしたり、オセロや将棋等のゲームを楽しむことができたり、ゆとりの場・活動の場を目的としています。
よく『あいあい』の由来を尋ねられますが、「LOVELOVE」「I（私）と愛。」「わきあいあい」とさまざまな意味合いをもっています。

今回はそんな『あいあい』を開店することになったいきさつと、お客様の声をご紹介します。

開店のきっかけ

愛全園では月に一度、利用者の方や地域の方の前で住職さんがお話をされる法話があります。

法話に参加されていた方から「月に一度、こうして法話でみんなに会えるのが楽しみや。もっと会えるといいのにのぉ」という一言がありました。それがきっかけになり、もし自分だったら？と考え、ふれあいの場として『あいあい』を開店することになりました。

最初はお客様が10人に満たないときもありました。常連さんの口コミや「どなたでもぜひ、お茶を飲みに来てください。」を合言葉に地域でのイベントなど機会を見つけては紹介を続けました。徐々にお客様が増え、現在20人の方が参加されています。

今回、愛全園グループホーム利用者の方の奥様も『あいあい』に参加しており、インタビューをさせていただきました。

喫茶あいあいのご案内

営業日：第1、3火曜日
営業時間：14:00～15:30
場所：愛全園コミュニティホール

メニュー

○飲み物 コーヒー・紅茶・ジュース
○おやつ おいしい洋菓子
○特別企画…レクレーション
その他、季節によって、いろいろな企画を行います。

←『あいあい』のご案内の一例です

『あいあい』を通して変わったことはありますか？

最初は他のデイホームに行っていましたが、職員さんから「ご夫婦でいかがですか？」と言われて来てみました。ここだと主人と一緒に参加できるのでよかったです。

主人は将棋を子どものころにしていたので、ここに来て久しぶりに将棋を再開することになり、イキイキしています。私も図書館で将棋の本を借りるようになったんですけど、なかなか覚えられませんね（笑）

面白かった・うれしかったことがあれば聞かせてください。

みなさんとゲーム（将棋やオセロ）や、お話をして新しいお友だちもできましたし、私が『あいあい』を欠席したときに、お友だちに気にかけてもらえたことがうれしいですね。

『あいあい』でゲームをすることで、主人も部屋でゲームをするようになりました。私も気持ちの余裕ができ、私自身もゲームをするようになりました。

主人としては、おかしを食べることがなによりの楽しみかもしれませんね。

他のお客様からこんな声が聞けました。

●今までは家の留守番どころか、自分の部屋のテレビの番が日課になっていました。でも月に2回『あいあい』が開かれ、送迎もしてもらえてとてもありがたいです。

●昔同じ町内だったお友だちと、15年ぶりに再会できました。まさかこんな所で会えるとは思いませんでした。

●外国人ボランティアの方とお話しするときに「サンキュー」と私の知っている英語が通じるとうれしいです。まるで外国人の孫ができたみたいです。

今後に向けて

お客様がここに来ることで、楽しみが増えたり、やりがいを感じたりなど、参加の理由はさまざまです。大事なのは職員がおもてなしの心をもつことであり『あいあい』の場を設け、ボランティアの協力を得ながら、みなさんがやりがいを感じるのが大切なのではないかと、今回『あいあい』を通して感じました。

今後ますます、元気な高齢者の方の活動の場や引きこもりの予防など、気軽に集えて過ごせる場所が身近な地域の中で求められてきます。

『あいあい』で得られるものを活かし、今後地域において貢献できる新しい場を作っていこうと思います。

愛全園
主任　布川 義之